

平和のまち枚方から戦争法廃止の声を



総がかり行動
実行委員会が呼びかける

2000万人
署名にご協力
ください

日本共産党

— 意見書名 —	共産党	自民党	公明党	民主市民	連合市民	未来・維新	平和市民	結果
安保法制の廃止を求める意見書	4人	4人	8人	3人	7人	5人	1人	否決
消費税10%増税に反対する意見書	○	×	×	○	○	×	○	否決

失われる「暮らしやすさ」と「枚方らしさ」

暮らしを直撃する
維新流政治は許さない!



2016年度から4年間で50億円の効果額を目標とする新たな「行革プラン」が示されました。

新年度から公共施設の駐車場の有料化、保育料の第2子無料化を公約しながら、保育料引き上げを検討するなど市民負担増を進めようとしています。

4年間で50億円の効果額! 新行政改革実施プラン

具体的な取り組み課題と2016年度具体化する事業

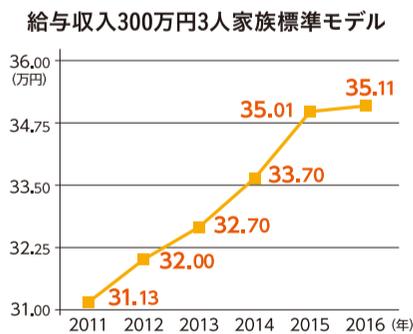
自主財源の確保と受益者負担の適正化 (6事業) ひらかた病院・保健センターなど公共施設の駐車場有料化	39億4百万円
事務事業の見直し・適正化 (9事業) 保育料の引き上げを検討	8億8千万円
行政の役割と責任を踏まえた効率的・効果的な行政改革 (6事業) さだ、牧野から図書館・生涯学習市民センターの運営を民間に 公立保育所民営化計画の策定	2億2千6百万円

請願
不採択

保険料軽減の支援ストップ 国保料 半数の世帯で引き上げに

3月定例会議では「国保料を下げて」との市民請願を審議しました。

市が例年通りの支援を行えば、引き下げは可能だと共産党は賛成。しかし結果は不採択で、新年度の国保料は約半数の世帯で引き上げに。



国保の広域化

保険料の大幅引き上げは許せない

2年後、国保は広域化に。3月に府下統一保険料、統一減免といった案が示されました。今でも高い保険料が大幅値上げとなる見通しで、議員団は市長あてに緊急要望を提出し、負担軽減を求めました。



美術館は公約通り白紙撤回を

市民が守った香里ヶ丘中央公園「アラカシの森」

美術館の整備は、昨年3月に議会で議案が可決されてから(共産党は反対)約1年。住民の反対の声が広がり、工事着手に至っていません。

伏見市長は、建設場所を総合文化施設の敷地内に変更する案を示しましたが、最終的な方針は市民に知られていません。これまでの、強引な市政運営を改めるのなら、市長の公約通り一旦白紙に戻し、市民の声に耳を傾けるべきです。



総合文化施設の早期整備を



総合文化施設は、20年以上にわたり、枚方の文化の発展を願い、市民が待ち望んでいる施設です。2019年度内にオープンという、市民との約束を守り早期に整備を行うべきです。

消費税10%増税にストップを!

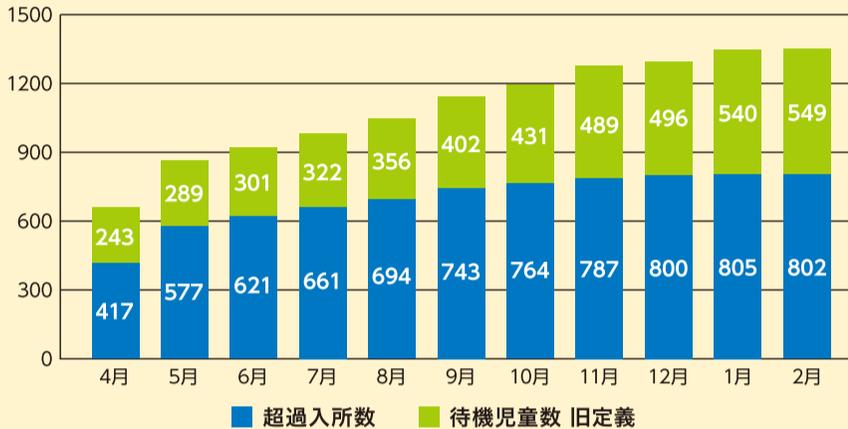
安心して楽しく子育てできる枚方に



通年での保育所待機児の解消を

大きな社会問題となっている保育所の待機児問題。市は通年での待機児解消にむけ小規模保育(19名)2カ所の追加対策を発表しました。緊急対応だけでなく抜本的な「待機児解消ひらかたプラン」の策定をと求めています。

2015年度 保育所超過入所数および待機児童数



枚方の待機児は昨年4月当初は厚労省が示す定義では36人ですが、より実態に近い厚労省の旧基準で243人、定員を超える超過入所は417人となっています。年度末近くなると旧定義では549人、超過入所が802人に至ります。

定員緩和で詰め込みやめて保育士の処遇改善こそ

政府が発表した待機児の緊急対策は、子どもの発達と安全を犠牲にして、保育士の手当もないまま既存施設に詰め込もうとするものです。国基準を上回る保育士配置をしている自治体には基準の引き下げを求めるなど、とんでもない内容です。

子育て4大公約すべて先送り

市長選挙政策	市長方針
子どもの医療費助成を高校3年生まで拡充します。 第2子以降の保育料を無料にします。	財源確保とあわせ検討
選択制の中学校給食を全員喫食に変更します。	財源確保を図りながら目指す
1クラス35人以下の少人数学級編成を現行の小学校4年生までから6年生にまで拡充するとともに、小学校3年生までについては30人以下の学級編成を実施します。	記載なし

市長選挙の重点公約として注目された子育て支援策の具体化は新年度予算では全て先送り。共産党議員団は安心して子育て出来る枚方をつくるため、市長に対し公約実現を求め頑張ります。

どの子にもゆきとどいた教育に

伏見市長は市政運営方針で少人数学級の推進には全く触れず、学校統廃合を推進し、学力テスト重視で習熟度別授業や小中一貫教育を打ち出しました。

「競争の教育」でなく、少人数学級の推進、学校司書の小中全校配置など豊かな教育を求め、引き続き頑張ります。



STOP
こどもの貧困

子どもの学ぶ権利の保障を

奨学金・就学援助の充実を

枚方市でも子どもの貧困対策を総合的に支援する検討が始まります。義務教育は無償ですが様々な負担が求められます。市の就学援助制度には国が基準として示しているクラブ費などがなく充実が必要です。

- 小学校でも入学準備金の早期支給を
- 就学援助の給付対象拡大を
- 枚方市奨学金は大学も対象に
- 学習支援事業等の充実を

	国基準(中学生)	枚方市
PTA会費	4190円	支給せず
生徒会費	5450円	支給せず
クラブ費	29600円	支給せず



学童保育(留守家庭児童会)にも待機児!

枚方の留守家庭児童会は、1月末までに申込みれば必ず入室できるよう対応しています。しかし、新年度はすでに十数人の待機が生じています。2017年度から5年生、2018年度から6年生までの受入れ拡大を予定しており、待機が出ることをないよう定員の再検討、対策を求めています。

国の奨学金を無利子に、給付制の奨学金制度を

日本共産党
枚方市議員団

市政報告 2016年
春季号
枚方市大垣内町2-1-20
TEL 841-7243 FAX 845-4141
hirakata-jcp@salsa.ocn.ne.jp

共産党枚方 検索

枚方市議員
広瀬ひとみ



枚方市議員
松岡ちひろ



枚方市議員
つつみ幸子



枚方市議員
のぐち光男

